



健康と温泉フォーラム 第39回月例研究会のご案内

- 主催 NPO法人健康と温泉フォーラム 地域活性学会
- 日時 2013年7月25日(木) 13:30~16:30 (受付13:00から)
- 会場 上野・東京文化会館4F 中会議室2
東京都台東区上野公園5-45 TEL 03-3828-2111
JR上野駅公園口出て正面すぐです。

- テーマ「タイに温泉ブーム到来—望まれる日本の協力とは」
- 講師 土橋 告(とばしつぐる) (株式会社サンヨーインターナショナル代表取締役)
1952年北海道生まれ。地元高校卒業後1977年まで文革期の中国など世界を放浪、波乱万丈の日々を過ごす。札幌ビジネスアカデミー観光科を卒業後地元旅行会社に勤務後上京。1991年にホテルマーケティング&レップ業を専門とするサンヨーインターナショナルを設立。バヤンツリー、ラッフルズ、ロイヤルクルフなど、主に東南アジアのホテルマーケティングを実施。東南アジア特にタイのスパ&ウエルネス市場に詳しく現在NPO日本スパ振興協会理事も兼務している。著書 「外資に負けないホテルマーケティング」ダイヤモンド社2009年

NPO健康と温泉フォーラムの初代会長の故大島良雄(東京大学名誉教授)は日本の温泉医学・文化の国際化を念願とし、1988年に京都で開催された国際温泉気候連合総会にアジア・太平洋地区の温泉医療関係者を招聘し国際温泉気候連合アジア・太平洋協議会を発足させた。その後毎年開催されるフォーラムの会合に合わせ各国代表を招聘し、参加国は最終的に11カ国になったが、(韓国、中国、タイ、インドネシア、オーストラリア、メキシコ、ソ連(当時)、ペルー、ニュージーランド、フィリピン、日本)、2000年のペルー温泉調査、2005年のイラン温泉調査・開発計画など海外政府の依頼には積極的に対応してきたが現在、フォーラムの諸事情により協議会は開催されていない。近年、国内スパ関係者との交流から東南アジアでスパブームに乗って、温泉ブームが到来し、タイなどでは日本風温泉施設や旅館に人気が高まっていると聞いた。いまのところタイでは観光市場に温泉が開発されるスキームであるが、日本の成長戦略の一つである健康長寿戦略の国際展開は温泉を健康増進へ活用するサーマリズムへの原点回帰であり、今後日本が海外戦略としてのキーワードになることを期待している。そういった背景のもと、今回タイでの温泉ブームを解析し、①タイの温泉状況②ヘルス・メディカルツーリズムの先進国としてのタイ戦略③日本はどのような協力支援が可能か④タイの温泉ブームとビジネススキーム等を論点に東南アジア市場に詳しい専門家から現状を報告いただき、合わせ日本の温泉文化と国際貢献に関して知見を交換したいと思います。(文責:合田)



■プログラム

1300 受付

- ・ 1330 コーディネーター・背景説明
- ・ 1340 講演 「タイに温泉ブーム到来—望まれる日本の協力とは」
講師 土橋 告(どぼし つぐる)(株式会社サンヨーインターナショナル代表取締役)

1500 休憩

- ・ 1515 ディスカッション
- 1630 終了

•参加費

健康と温泉フォーラム・日本スパ振興協会・地域活性学会会員 2000円

一般の方 3000円

報道関係者・学生 無料

(当日会場受付で承ります)

•お申し込み・お問い合わせ

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局までE-mail またはFAXにてお申し込み下さい。

定員先着順40名とさせていただきます。お早めにお申し込みください。

E-mail info@onsen-forum.jp TEL&FAX 03-6804-8575

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局宛

参加申込書 第39回月例会(2013年7月25日(木))に出席します。

•お名前 (複数可)

•団体名

•住所

•TEL •FAX •E-mail